

世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。

幅広いテーマの講義とディスカッションを通して
多様な視点や価値観を持つことの重要性を学んだ。



専門知識や語学力に加えて広い教養を身につけ、 科学技術と人との関わりをより良くしていきたい

私は、大学に入学したら専門分野を学ぶ前に基礎的な素養を身につけたいと考えており、受講できる広範な科目の中で、特にグローバルリーダーシップセミナーに興味を抱きました。世界で問題となっているテーマを講義とディスカッションという形態で学ぶことで、国際感覚や積極性を養えるのではないかと考えたからです。

講義では、リーダー像について環境問題や芸術など、多彩な分野と絡めた興味深い話が聴け、次回その内容について英語でディスカッションを行います。最初の頃は思ったことをすぐに英語にできず、もどかしい思いをしたこともありましたが、自分と異なる視点を持つ学生たちの意見を聞き、感じ方を知ることが、とても新鮮で刺激的な体験でした。自分が持っていた固定観念が崩され、リーダーとして多様な視点や価値観を持つことの大切さを学ぶことができたと思います。同時に、自ら発言しないとディスカッションに参加できないため、授業に対して積極的な姿勢を持てるようになったことも収穫でした。

これからは留学プログラムにも挑戦して、さらに多くの刺激を得たり、視野を広げたいと思っています。2年生以降はシステムデザイン工学科に進学して、科学技術と人間社会の関係性をより良くできるような革新的システムの設計をするエンジニアになることが、これからの目標です。そのためには、専門分野の知識や語学力を習得するだけでなく、世界で起きている問題を多角的に捉えられるような見識を身につけ、既成の枠にはまらない創造力を養っていきたくです。

学門B 1年
兵庫県/神戸女学院高等学部 出身



外国語教育 (英語・諸外国語)

学部1・2・3・4年

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



グローバルリーダーシップ セミナー(GLS)

学部1・2年

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約140校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向けプログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

